

令和の大改修

令和四年二月竣工



大宮神社社報 令和の大改修竣工記念号

心のふるさとを 後世につなぐ

～人々の心の輪をつなぎ、後世に思いをつなげた大事業～

この度の改修事業では、氏子崇敬者様には多大なるご奉賛とご協力を賜り、誠にありがとうございました。ご奉賛者は千百十三人に及び、本殿屋根銅板は二千五百八十六枚のご奉納を賜りました。工期中の二年間は試行錯誤の日々でしたが、多くの皆様にお支えいただき、無事竣工を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

思えば二年前、昭和初期に建てられた貴重なお社を後世に残そうと始められた本事業ですが、その後予期せぬコロナ禍が起きました。祭の中の在り方も変わりました。祭の神賑行事は全て中止。本事業の重儀である二回の遷座祭も参列規模を縮小するなど、氏子様の集う機会が少なくなり

大変残念でした。そんな状況でも日々お詣りされる氏子様は途切れることなく、多くの皆様がお神前では清々しく晴れやかなお心になられている様子でした。私たち日本人は今も昔も氏神様を拠り所とし、どんな時も心のふるさとである氏神様と共に在るのだと実感しています。改修されたお社に無事鎮まりました氏神様をお守りし、皆様にも心のふるさととしていつまでもお心寄せいただけるよう神明奉仕に努めます。

令和の大改修は氏子様と神様のご縁をつなぎ、皆様の心の輪をつなぎ、後世に思いをつなぐ素晴らしい事業となりました。感謝と共に皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和四年二月発行

大宮神社

旭区大宮三一―三七

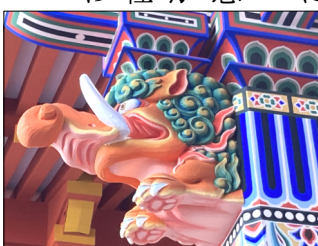
二月七日 若宮社仮殿遷座祭
若宮社工事開始
六月十七日 若宮社正遷座祭

老朽化していた末社若宮社も改修しました。



九月 本殿の塗り作業開始

本殿は昭和五十年代に一度塗り直しされていますが、当時は詳細を再現することができませんでした。今回の改修では建築当時の貴重なカラー写真を分析調査し、当時の色や模様に近いものを細やかに再現しました。建築当時を思わせる鮮やかな朱色のお社に生まれ変わりました。



(右) 細やかな模様の彩色作業の様子
(左) 公園側から見た本殿の大屋根



令和四年

二月十七日 本殿遷座祭
二十四日 本殿遷座奉祝祭
二月二十六日～三月十三日 奉祝期間の正式参拝

奉賛者の特別芳名簿は本殿のご神座近くに永年奉納されます



このたびの改修事業に伴い、神社に伝わる宝物の修復も行いました。

○境内古図 非公開

江戸時代制作で、秀吉時代の当社を描いたものと伝えられています。

○絵馬二点 拝殿にて展示

「明治天皇行幸図」

「仁田忠常猪退治図」

当社に古くから伝わる絵馬九点のうち二点を今回修復しました。当時の奉賛者の名前が数筆記名されています。

工事・ご祭儀記録

- 令和元年 十一月二十八日 高良社御霊遷座祭
- 令和二年 一月一日 令和の大改修奉賛活動開始
- 二月五日 拝殿工事安全祈願祭
- 二月九日 高良社仮殿遷座祭
- 九月 拝殿竣工
- 九月十六日 高良社正遷座祭
- 十月二十六日 本殿工事安全祈願祭
- 十一月四日 仮殿遷座祭
- 十一月より 本殿工事開始
- 令和三年 二月七日 若宮社仮殿遷座祭
- 六月十七日 若宮社正遷座祭
- 令和四年 二月十七日 本殿遷座祭
- 二月二十四日 本殿遷座奉祝祭
- 二月二十六日～三月十三日 奉祝期間 奉賛者の正式参拝受付

令和の大改修のあゆみ



令和元年

十一月二十八日

高良社御霊遷座祭

令和の大改修は、このお祭りから始まりました。この時豊国大明神像は約九十年ぶりにお出ましになり、遷座後に調査を開始しました。現在神様は新しいご神体にお遷りいただき、お祀りしています。



令和二年

一月一日 奉賛活動開始

初詣では特別受付所を設け、多くのご奉賛を賜りました。二年間でご奉賛者は千百十三人、本殿屋根銅板は二千五百八十六枚ご奉納いただきました。



二月五日
拝殿工事安全祈願祭
拝殿工事開始

二月九日

高良社仮殿遷座祭
高良社工事開始

高良社は古くから当社にお祀りされている末社で秀吉像が発見されたお社です。当社は大阪城



拝殿は床板、濡れ縁、勾欄を取り外し修理して洗いをかけました。本殿側に神具庫を増築。拝殿床面積を増床。建築当時に描かれた壁面絵画を修復しました。

左は松鶴図
下は牡丹孔雀図

五月二十一日

豊臣秀吉像発見の
報道発表

大阪市文化財保護課の調査により、当社の秀吉像が歴史的に貴重なものであることがわかり、社務所にて記者発表が行われました。各テレビ・新聞などで報道発表され、全国で最大の秀吉像として、大きな注目を集めました。翌年三月には大阪市の指



の鬼門にあたり、香吉・徳川時代には大阪城の鬼門守護神として篤く崇められていました。今のお社は本殿と同じく昭和十一年建築。銅板屋根葺き替えと洗いをかけました。

定有形文化財になりました。お像は傷みが激しいため、現在は修理補修中です。



九月十六日 高良社正遷座祭
十月 拝殿竣工
十月二十六日 本殿工事安全祈願祭

十一月四日 仮殿遷座祭

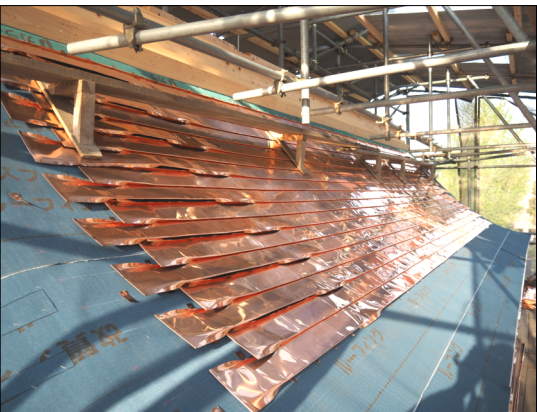
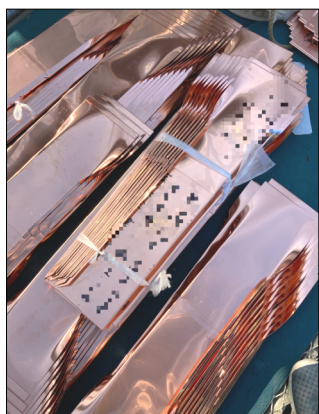


遷座とは神様をお遷しするお祭りで、当社では昭和十一年本殿建築以来の斎行になりました。神職、楽人、役員総代の十九名でご奉仕し、拝殿に設えた仮殿に無事お遷りいただきました。コロナ禍のため参列規模を大幅に縮小して執り行われまし



令和三年

二月より本殿の本格的な工事が始まりました。本殿全体に覆いをかけ足場を組みました。老朽化した木部の補修工事を進め、四月からは屋根の銅板葺きが始



まりました。皆様が願いをこめた二千五百枚の銅板は神様をお守りするお屋根となりました。